

平成28年度全国学力・学習状況調査が4月19日に実施され、大東市の全公立小学校の6年生1,053名、中学校の3年生1,105名が調査に参加しました。

調査内容は、国語及び算数・数学の知識に関するA問題と、活用に関するB問題による「学力調査」、児童・生徒に学校生活や家庭生活の様子をたずねた「児童・生徒質問紙」、各学校の取り組み状況や教職員の意識についてたずねた「学校質問紙」の3つからなっています。

教育委員会では、分析した調査結果を学校での「授業改善の工夫」および児童・生徒の「学習意欲と学力の向上・基本的生活習慣の定着」に役立てるとともに市の教育施策に反映させてまいります。

なお、本調査で測れるのは児童・生徒の学力の一側面です。

問教育研究所 ☎870・9107

小学校 学力調査の結果より

国語は、A問題では、目的に応じて図と表とを関連付けて読むことはほとんどの児童ができていました。しかし、ローマ字を読み書きすることについては課題があります。B問題では「読むこと」はできていますが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」に課題があります。

算数は、A問題では、「数と計算」の設問で、正答率が全国を上回る設問がありました。B問題では、条件を基に他の正方形を検討し、同じ決まりが成り立つか調べることはほとんどの児童ができていましたが、各領域において課題があります。

中学校 学力調査の結果より

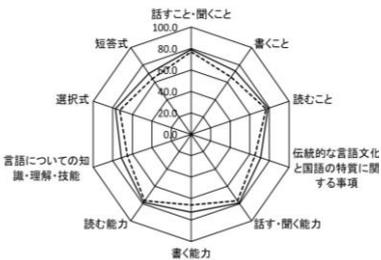
国語は、A問題では、漢字の読み書きで全国を上回る設問がありました。しかし「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」には課題があります。B問題では、平均正答率で大阪府を上回りましたが、「書くこと」や文章の中心的部分と付加的部分とを読み分け、要旨をとらえることに課題があります。

数学は、A問題の「図形」で正答率が全国を上回る設問もありました。しかし、「関数」については課題があります。B問題では選択式で解答する設問では全国とほぼ同様の正答率でした。しかし、各領域、また、記述式で解答する設問には依然課題があります。

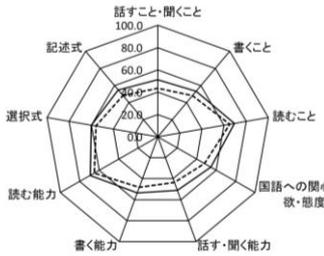
<平均正答率>

..... 大東市
—— 全国

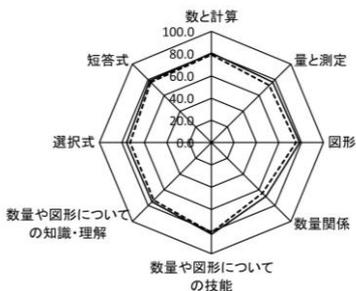
国語A
大東市：67.5%



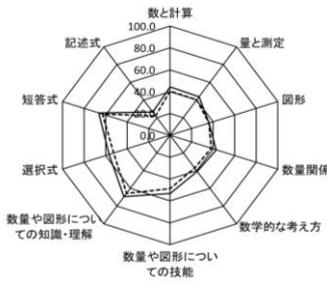
国語B
大東市：52.7%



算数A
大東市：75.5%



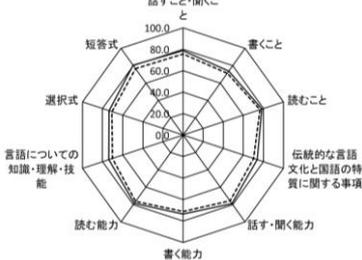
算数B
大東市：43.1%



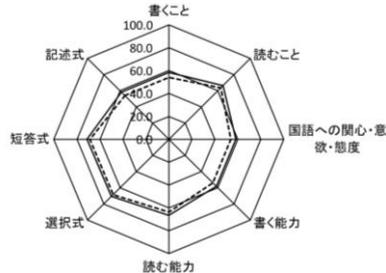
<平均正答率>

..... 大東市
—— 全国

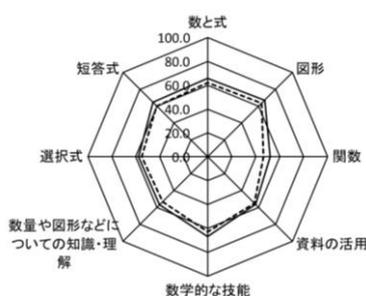
国語A
大東市：72.5%



国語B
大東市：63.7%



数学A
大東市：58.3%



数学B
大東市：40.3%

